



# チーム大蔵

～あいさつ えがお げんき～

大蔵小学校だより NO. 3 令和2年6月5日(金)・8日(月)

北九州市立大蔵小学校

〒805-0043

北九州市八幡東区

勝山一丁目1-1

TEL (093) 651-0076

《文責》

大蔵小学校 校長 高宮 滋

## 新型コロナウイルスから学んだこと

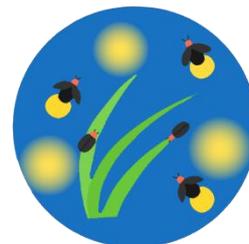
### ～ 自ら考え・判断し・選択することの大切さ ～

これまで長い間、新型コロナウイルスの猛威によって、休校となっていました。このような事態は、子どもだけでなく、私たち大人さえも経験したことがないことから、先行き不透明で気持ちが沈んでしまいがちです。

「緊急事態宣言」「都市封鎖（ロックダウン）」など、初めて耳にしたり、経験したりする中で、日本と諸外国との違いについて改めて考えるきっかけになりました。そのような中、日本のロックダウンは諸外国に比べ「自主的なロックダウン」と表現した新聞記事を目にしました。規制を強くし、守らない者を取り締まる方法を選んだ国に比べ、日本のやり方は、現状を説明し、自粛の理由を示すことで、個々人の判断を求めました。

個人差はありますが、多くの人々が自らを守るために、「自粛」を選びました。このように、人は、個々人の判断が求められれば、自ずと自己管理ができるようになるものだと思います。

私は、この危機の中で生活する子どもたちには、「お友達とくっついては、いけません」「手を洗いなさい」といった指導ではなく「なぜ、そうしなければならないのか」について、発達段階に応じて丁寧に理解を促すことで、“自分からコロナ感染を防ぐ行動を選ぶ（選択する）子ども”を育てていきたいと考えます。そうすることで、この力（自己管理能力）は、感染を防ぐことだけに留まらず、様々な分野でも活かされる力となっていくからです。



### ～ あいさつ 自分からできる人に ～

休校のために、子どもたちに会えず、静かな（寂しい）学校が続きましたが、今は、朝の登校時、正門前で声をかけると、にっこり笑って挨拶をしてくれます。また、私が声をかける前に「校長先生、おはようございます」と先に挨拶してくれるお友だちもいます。そして、中でも高学年の子どもたちは、男の子も女の子もステキな挨拶をする子が多いと感じます。大蔵小学校のリーダーとして頼もしさと清々しさを感じます。

私たちは、挨拶の指導をする際、その子の心の状態を感じることができればと考えます。うれしいことがあったら言葉が弾み、不安な時は声が沈んでしまうように、挨拶を通して子どもたちを理解し関わっていきたくと思います。「挨拶は、心の状態を示すバロメーター」です。本来なら、そこに「表情（笑顔）」を加えたいのですが、現在はマスクを着用しているので、少し難しいかもしれません。顔が隠れている分、目と心でしっかり挨拶できる大蔵っ子を目指しましょう。



### ご家庭でもお話してください！ ～ 心配しています ～

- ◇ 登下校中に「マスクを外している」また、下校後に、「マスクを着用せずに外出している」「公園などで子どもが集まって遊んでいる」など。
- ◇ 報道にもありましたが、県内で釣りをしていた小学生男児が水路で溺れるという痛ましい事案が発生しています。（子どもたちだけで危険な場所（海、川、ため池等）に近づかない）
- ◇ 下校後は、極力自宅で過ごす。→ 感染拡大を防ぐために、下校が早くなっています。自由に遊ぶ時間を増やすためではありません。感染リスクを避けるためにも、「友達の家には遊びに行かない」「自宅で過ごす」を守り、安全に過ごしましょう。

**お知らせ** 毎朝、お忙しい時間に、検温・健康観察・健康カード記入等、ご協力ありがとうございます。今後とも、引き続きよろしくお願い致します。